

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

## 三陸復興

第97号

平成27年12月1日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

岩手県の平野部にも初雪が舞い、いよいよ本格的な冬の訪れを肌を感じる今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

## 『東日本大震災津波・岩手県復興報告会』が開催されました 台湾・台北市

台湾の皆様へ東日本大震災津波の支援への感謝と復興の取組を伝えるため『～「つながり」に感謝～東日本大震災津波・岩手県復興報告会』が、平成27年11月10日（火）、台北市のザ・シャウッド台北（台北西華飯店）で開催されました。

岩手県が海外で復興報告会を開催するのは、平成25年のアメリカ・ニューヨーク市、平成26年のフランス・パリ市に続き3回目。

今回の報告会には、台湾の関係者や県関係者ら約200人が出席。セシモニーで達増知事は、復興支援に対

する御礼と復興の取組を報告し、亜東関係協会副参事回部弁事の李 世丙氏と台湾赤十字組織の王 清峰会長に感謝の盾を贈呈しました。

レセプション会場では、来場者にわんこそばやまめぶ汁、地酒など岩手県の特産品が振る舞われた他、復興状況や台湾との交流の様子を伝えるパネルが展示されました。

達増知事は、「復興する岩手の姿をご覧いただくことが、御支援に対する感謝の気持ちを伝えることになると考えている。今後も台湾との交流を深めていきたい。」とスピーチし、

来場者は、復興に向けて邁進する岩手県の力強さを感じるとともに、岩手県と台湾の強い絆を深めた一日となりました。

台湾からは、震災直後の支援活動をはじめ、多くの救援金が寄せられ、保育園や幼稚園等の施設や災害公営住宅の整備等に充てられています。

また、復興支援に加え、中華航空のチャーター便を通じての相互訪問、ホームステイ等の民間における交流が盛んに行われており、台湾とのさらなる「つながり」に期待が寄せられています。



復興の状況を報告する達増知事



展示されたパネルに目を向ける来場者



レセプション会場の様子

## 「こころサロン ENERGY」で心のサポート

盛岡市

岩手県精神保健福祉センター（盛岡市）では、東日本大震災津波等で大切な家族を亡くされた人を対象に新たなサポートを行っています。

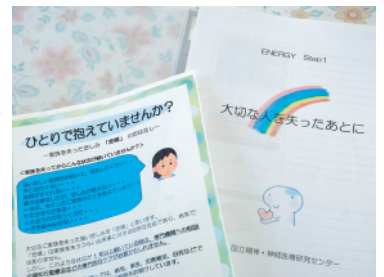
大切な人を亡くしたことから落ち込んだ気分が長く続き、亡くなった事実を受け入れることができない等の状態が続くと心身に大きな影響が生じ（複雑性悲嘆）、専門的なサポートが必要となることがあります。

同センターが行っているサポートは、東日本大震災津波で突然家族を失った遺族への心理社会的支援のため開発されたプログラム「ENERGY」を活用し、隔週土曜日、全5回実施されるもので、精神科医師や保健師、臨床心理士等専門スタッフが家族を亡くした人と一緒に、悲し

みに向き合い、日常生活が取り戻せるよう取り組むもの。

震災から4年9ヶ月を迎える中、生活環境の変化や将来への不安から孤立感を抱く人も多く、そういった人々の精神的サポートの窓口として利用できます。

- ▼開催日時：原則隔週土曜日  
全5回 10:00～12:00
- ▼場所：岩手県精神保健福祉センター4階（盛岡市本町通3-19-1）
- ▼参加申込：事前にお電話でお申し込み下さい。
- ▼お問い合わせ：岩手県精神保健福祉センター（上田・佐々木）  
月～金 9:00～16:30  
☎ 019-629-9617



使用されるプログラム「ENERGY」

## いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援!

登録無料



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。

[いわて復興応援団](#)

[検索](#)

## 東日本大震災津波後初の 「市民マラソン」が開催されました

陸前高田市

平成 27 年 11 月 15 日 (日)、陸前高田市で「復活の道しるべ 陸前高田応援マラソン (主催：陸前高田市教育委員会・陸前高田市体育協会)」が開催され、市内外から集まったランナー約 800 人が、復興が進む市内を駆け抜けました。

同市は、毎年 11 月に市民マラソンを開催していましたが、東日本大震災津波後、中断。今回は、スポーツ用品メーカーの「アディダスジャパン株式会社」(東京都港区)の全面的な運営支援のもと、震災後初の開催となりました。

レースには、市内から約 450 人、市外から約 350 人がエントリー。幅広い世代のランナーが、10km、5km、3km、1.5km の 4 つの種目に分かれ健脚を競いました。

背中に陸前高田市の応援メッセージを書き込んだランナーたちが駆け抜けると、沿道からは温かい声援が送られました。



スタートする参加者 (写真提供：陸前高田市)

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。第 49 回目は、中村 博充さんを紹介します。

### PROFILE

大阪府出身。  
大学卒業後、東京都の商社でパソコンの半導体等の輸入営業に携わる。  
平成 25 年 4 月、地域づくりを進める復興支援員「釜援隊」に参加するため釜石市に移住。  
現在は、新たに KAMAROQ 株式会社の代表取締役社長として、地域企業連携の商品開発に携わる。

### 地域企業が連携した地域貢献を

「釜援隊」の一員として、復興支援、まちづくり等への支援活動を行う一方、KAMAROQ 株式会社の代表を務める中村さん。

「KAMAROQ」は、市内の水産加工会社、和菓子店、酒造メーカー、醤油メーカー、漁業者等、釜石市の 6 者で立ち上げた会社で、異業種企業が連携し地域へ貢献することがコンセプト。

## 未来の さんりく びと

KAMAROQ 株式会社

代表取締役社長

中村 博充

(なかむら ひろみつ) さん



中村さんからのひと言：

財を残すは下。  
業を残すは中。  
人を残すは上。

## 宮古—室蘭航路を PR 「フェリーショートクルーズ」を実施

宮古市

平成 27 年 11 月 15 日 (日)、宮古市は、宮古港開港 400 周年記念事業の一環として「フェリーショートクルーズ」を実施しました。

これは、平成 30 年春に予定される宮古—室蘭 (北海道) 間の定期航路開設の機運を盛り上げようといわれたもので、同市は、フェリー航路の開設を計画している川崎近海汽船 (東京都千代田区) のシルバーキーン (全長 134m、7005t) をチャーター。当日は、市民 300 人と関係者ら 200 人、計 500 人が乗船しました。

ショートクルーズは、宮古港藤原埠頭を出航し、岩泉町小本沖までを往復する約 2 時間のコースで、参加者は、短い船旅を満喫していました。

フェリー定期航路は、宮古—室蘭間 (325km) を 1 日 1 往復 10 時間で結ぶ計画で、観光や物流の拡大が見込まれると期待が寄せられています。



チャーターされた「シルバーキーン」(写真提供：宮古市)

6 次産業化をベースに、岩手県三陸地域の魚介類をメインに味付けした海鮮中華まんじゅう「釜石 海まん」を商品化し、販売しています。

中村さんは「釜石 海まん」が釜石市のお土産のひとつとして、地域の方々にも愛着をもってもらえる商品になってほしい。」と話すと同時に、参加している企業の特徴を活かした「地域企業の連携」のモデルケースを目指しています。

### 前向きに活動する

「釜石の街を自分が何とかしていく」と前向きに活動する人が増えれば、人口が減っても街は続くと思う。子どもたちが釜石を出て行っても戻ってこれる選択肢を残すために、本気で活動する人がいっぱい居る街が素敵な街。釜石にはそういう人が多く居るし、次に繋げていくことも出来ると思うので、それが復興を目指す姿だと思います。」と、まちづくりへの想いを語る中村さん。

将来を見据えた「地域企業連携」への挑戦に、まちづくりへの期待が寄せられます。

### 岩手県の被害状況

平成 27 年 10 月 31 日現在

- ▶ 人的被害 死者 (直接死) : 4,672 人 行方不明者 : 1,126 人
- ▶ 建物被害 (住家のみ、全半壊) 26,165 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成 27 年 10 月 31 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 184 億 1,415 万円 (92,208 件)
- ▶ 寄付金受付状況 約 197 億 1,038 万円 (7,503 件)
- ▶ いわての学び希望基金 (※) 受付状況 約 77 億 7,931 万円 (16,429 件)

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 97 号 平成 27 年 12 月 1 日号

企画・発行：岩手県復興局復興推進課

☎ 019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 12 月 15 日号の発行を予定しています。